

★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:500252 1口1000円～ にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:500251 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。
★JOSO脱プラ基金は注文番号:500254 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。



News Letter

2023年6月2回号 発行:常総生協広報G



2022-23年度活動テーマ(案)「つくと食べるでつながろう ～私たちの地産地消～」

第50回通常総代会議案書ができました。 総代さん以外でご要望ある方にお届けします！

○総代会議案書とは

春の討議資料アンケートを経て、2022年度の活動・事業の振り返りと、2023年度の常総生協としての活動・事業方針の説明をまとめた冊子です。1年間常総生協の指針となるものです。

総代会にてこの議案書を基に、組合員の代表である総代さんが議案について討議します。

総代さん以外の方でも組合員からのご要望があれば総代会議案書をお渡ししています。ぜひ供給担当までお申し出ください。 ※又は意見欄もしくは、問い合わせフォームからでもOKです

○第50回通常総代会の日程

日程:2023年6月17日(土) 10:00～12:00

場所:守谷市中央公民館 ホール (守谷市百合丘2丁目2540-1)



【総代の皆さまへ】

5/29の週に封筒で「総代会関係書類」一式をお届けしています。

「総代招集通知」、「総代証明書」、「議案書」、「交通費実費精算書」、欠席の場合の「書面議決書」など、総代会での重要書類が入っています。

2023年6月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●	○提携・協同・連帯企画●
○「常総っ子応援団」ゴンタで遊ぼうin流星台プレイパーク 毎週末曜日に外遊び活動をしています。 ・6/3(土)どんぐりてい援農交流会 ・6/10(土)清水農園援農交流会 ・6/17(土)総代会 ・6/24(土)歴史講座 ・6/28(水)定例理事会、脱原発とくらし見直し委員会	・6/1(木)～2(金)NW21物流担当者会議@常総生協 ・6/24(土)県民投票の会 受任者カフェ ・6/25(日)我孫子げんぎフェスタ ・6/29(木)茨城県生協連総会

守谷市 受任者カフェ

6月24日(土) 午後2時～
開場：13時半

場所：常総生活協同組合
(守谷市本町 281)

カフェしながら、
気軽に話しましょう♪

(飲み物とお菓子を用意しています。)

*まだ受任者になっていない方、
県民投票に興味のある方も是非
お待ちしております。



県民が、東海第二原発再稼働の賛成反対を
意志表示する＝県民投票を2024年に実施するため、
再度、署名提出（直接請求）を行います！

署名をしてくれる人の受任者カフェを開催します。

多くの署名を集めるためにみんなでアイデアを出し合いましょう(^^)

*前回受任者になられた方も再度登録する必要があります。

こちらからも参加申し込みできます。



主催：いばらき原発県民投票の会

申込み・問合せ：常総生活協同組合 0297-48-4911

世話人 小菅勝彦 090-1811-1380

※受任者とは・・・署名を集める人（＝受任者）の事で、県民投票を実現する為には、各自治体ごとに受任者が必要です。

話そう 選ぼう いばらきの未来

いばらき原発県民投票の会って？

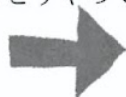
茨城県の東海第二原発は、1978年に営業運転を開始しました。東日本大震災以降は稼働を停止していますが、現在安全対策工事が行われています(2024年9月終了予定)。原発の存廃は、県民の生活に大きな影響を及ぼします。再稼働には周辺6市村と茨城県の同意が必要ですが、その判断には、広く県民の意思を確認することが必要だと私たちは考えます。そこで私たちは、県民同士が話し合い、一人ひとりがそれぞれの選択を表すことができる「県民投票」をめざしています。

東海第二原発って？

- 茨城県東海村にある、稼働から40年以上経過した原発
- 半径30km圏内に、全国最多の94万人が居住。
- 3.11のときは福島第一原発のような過酷事故の一手手前に。
- 2021年3月、水戸地裁で東海第二原発の運転を差し止める判決が出ました。双方が控訴し、現在東京高裁で裁判が続いています。
- 2023年2月28日、岸田首相は原発を60年を超えて運転できるようにする法案を閣議決定。

- 県知事選や県議選では、再稼働の賛否を明らかにしない候補者が多数当選しています。
- 県民の意思をどうやって県に伝える？

なぜ県民投票か？



そこで県民投票！

私たちの民意を示そう！

2020年6月、原発県民投票の実現をめざして86703筆の署名が集まり、「直接請求」が実現しました。県議会では否決されましたが、県民の声を聞くことの必要性は知事も議員も認めました。「直接請求」という行動が、政治の場に民意を届け、議論を呼び起こすことができました。もっと多くの署名をみんなで集め、県民一人ひとりの民意を示せる機会の実現をめざしましょう！話そう、選ぼう、いばらきの未来。

皆さんの参加をお待ちしています！



いばらき原発県民投票の会

代表：鶴沢恵一 事務局長：富岡 彰

TEL：080-2261-4980

e-mail：ibarakitohyo@gmail.com

website：<https://ibarakitohyo.ne>

**【産地交流会・ご報告 その①】 2023/5/20（土） @常総市・東町
みんなでいっしょうけんめい植えました！～めぐみちゃん実験田の田植え～**

「めぐみちゃん」を生産する常総市東町耕作者組合のみなさん。常総生協との
お付き合いは1993年の米の大不作時からなので、今年で30年になります。その
年の秋、どこの産地からも米の入手が困難だった時に全量を常総生協向けに出
荷。この年、常総生協の組合員は海外産の米を食べることなく過ごすことができ
ました。

そして、1999年から始まったこの「実験田」での田植えも今年で25年目。こ
れまで多くの組合員と子どもたちが田植えをしました。

今回とても印象深かったのが、かつてお父さん、お母さんと一緒に田植えをし
たご子息のみなさんが、小さな子どもを連れて参加し「三世代」での田植えに！
「この子たちはめぐみちゃんを食べて育ったのよね～」という組合員の言葉に、
生産者も嬉しそうでした。これからも地元のお米を食べ続けられる関係が脈々と
続くことを願いました。



（米担当 柿崎）

.....

～参加された組合員の感想～

★孫：楽しかった。ドロドロ気持ち悪くなかったよ。面白かった！

★母：ずっと体験したかった田植え。初めてなので感激でした！お米を作るのって大変ですね。

★祖母：三世代で田植え体験が出来てとても良い思い出になりました。「めぐみちゃん」生産者の皆
さまに対して改めて感謝です。

めぐみちゃん生産者の皆さまへ：安全でおいしいお米をありがとうございます。学校でバケツ苗の学
習をするそうですが、管理がとても大変で病気になるたり鳥に食べられたりするそうです。お米は私
たちの食生活の基本、安全が守られ継続的に生産されることを願っています。

（取手市 Oさん）

**【産地交流会・ご報告 その②】 2023/5/21（日） @かすみがうら市西野寺
今シーズンも美味しいいちごをありがとう！～竹村さんとのいちご交流会～**

いちごのハウス内の片付けを兼ねたいちごの収穫と竹村さんとの
交流会を開催致しました。当日は良い天気にも恵まれ、9家族
（大人15名、子ども7名）のみなさんが竹村さんのいちごハウ
スに集まりました。

農薬を極限まで無くす稀有ないちご栽培を長年続ける竹村さ
ん。常総生協とのお付き合いも今年で10年になります（10周
年！）。



後半のお話し会では、参加者からの質問攻め（笑）でしたが、「まずは自分で育ててみると、いろ
いろ分かってきますよ」と竹村さん。また、「自分の子どもたちに食べさせるものと同じものを皆さ
んにお届けするのが私のいちごづくりです」という言葉が印象に残りました。

（農産担当 柿崎）

.....

～参加された組合員の感想～

★竹村さんのいちご園、とても楽しかったです。子ども達は「来年も行きたい！」と今からはりきっ
ています。充実した時間をありがとうございました。いただいたいちごでジャムを作ったので、まだ
しばらく竹村さんの絶品ないちごを楽しめそうです。

（守谷市 Kさん）